

## 様式第1号(第5条関係)

## 会 議 録

|                         |  |
|-------------------------|--|
| 会 議 の 名 称               | 平成28年度 第1回美幌町次世代育成支援推進協議会  |
| 開 催 日 時                 | 平成28年11月30日 (水)<br>午後6時30分 開会 午後7時36分 閉会   |
| 開 催 場 所                 | しゃきっとプラザ 会議室1・2  |
| 出 席 者 氏 名               | 別紙名簿のとおり   |
| 欠 席 者 氏 名               | 別紙名簿のとおり   |
| 事務局職員職氏名                | 別紙名簿のとおり   |
| 議 題                     | (1) 美幌町子ども・子育て支援事業計画実施報告について<br>(2) その他  |
| 会議の公開又は非公開の別            | 公開   |
| 非公開の理由<br>(会議を非公開とした場合) | —  |
| 傍聴人の数<br>(会議を公開した場合)    | 0名   |
| 会議資料の名称                 | 第1回美幌町次世代育成支援推進協議会議案<br>書類番号1 美幌町子ども・子育て支援事業計画の実施状況について<br>資 料1 美幌町子ども・子育て支援事業計画進捗状況 |
| 会議録の作成方針                | <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した全部記録                                   |
|                         | <input type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録  |
|                         | <input type="checkbox"/> 要点記録  |
| その他の必要事項                |  |

| 発 言 者                              | 審議内容（発言内容、審議経過、結論等）   |
|------------------------------------|---|
| <p><b>(開 会)</b><br/><b>事務局</b></p> | <p>皆さんこんばんは。定刻になりましたので、只今より平成28年度第1回美幌町次世代育成支援推進協議会を開会いたします。</p> <p>この協議会は、美幌町審議会等の会議の公開に関する条例第3条により公開となります。会議の傍聴ができますので、あらかじめご承知をいただきたいと思ひます。</p> <p>なお、本日の会議は概ね1時間以内で終了したいと思ひますので、ご協力の程よろしくお願ひをいたします。</p> <p>なお、本日欠席の報告のあった方は、贄田様、それから横山様、そして中條様につきましてはちょっと遅れるという連絡をいただいております。</p> <p>それでは、次世代育成支援推進協議会、会長であります早田会長よりご挨拶をいただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。</p>  |
| <p><b>早田会長</b></p>                 | <p>みなさんこんばんは。お寒い中、またお忙しい中お集まりをいただきまして、大変ありがとうございます。感謝申し上げます。</p> <p>今日はですね、第1回ということで会議よろしくお願ひいたします。この会議の理想はですね、横の連携を密にしまして、お父さんお母さんの子育ての支援になればなどと思っております。そして、最終的には子どもがですね、生き生きと安全に健やかに育つようになればいいかなと思っております。</p> <p>どうか、皆さんのご意見またアイデア等々ですね、お声を発していただければと思ひます。今日は、よろしくお願ひいたします。</p>   |
| <p><b>事務局</b></p>                  | <p>どうもありがとうございます。議題に入る前に、今年の4月の人事異動で民生部長に異動してきました、高崎よりご挨拶を申し上げます。</p>   |
| <p><b>高崎民生部長</b></p>               | <p>おばんでございます。本日は、大変お忙しい中、また、夜分遅くにですね、お集まりいただきまして有り難うございます。私、今紹介ありましたように4月に民生部の方へ異動してきました。こちらの方の民生部、はじめてでございますので、また、皆様の色々なご意見いただきながら勉強してまいりたいというふうに思っております。</p> <p>本日の子ども・子育て支援事業計画でございますけれども、本当に幼児期の学校教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進していくということで、平成27年度からの5ヶ年計画、31年までの計画を作成したところであります。</p> <p>本日、平成27年度の実績等をご報告させていただきますけれども、実施内容等忌憚のないご意見をいただきまして、今後の28年、29年という形の事業の中に反映できるような形にしていきたいというふうにも考えておりますので、どうか皆さん、自由なご意見を出していただきたいというふうに思っておりますので、どうかよろしくお願ひいたします。</p> <p>簡単ではございますが、ご挨拶に代えさせていただきます。どうかよろしくお願ひいたします。</p> |
| <p><b>事務局</b></p>                  | <p>はい、次に議題に入りますけれども、これより先は会長が議長となり進行していただきますので、よろしくお願ひをいたします。</p>   |
| <p><b>早田会長</b></p>                 | <p>それでは、3番の議題に入ります。</p> <p>(1) 番、美幌町子ども・子育て支援事業計画実施報告についてという</p>  |

| 発 言 者 | 審議内容（発言内容、審議経過、結論等）   |
|-------|---|
| 事務局   | <p>ことで、事務局よりご説明をお願いいたします。</p> <p>はい、皆さん、それでは、お手元の資料1 子ども・子育て支援事業計画進捗状況からご報告いたします。座ってご報告させていただきます。よろしいでしょうか。</p> <p>はい、本計画につきましては、子ども・子育て支援法に基づき、教育・保育提供区分毎に「教育・保育」及び「地域子ども・子育て支援事業」の量の見込み、ニーズ量を推計し具体的な目標設定を行うことが求められ、アンケートによるニーズ調査を実施して設定したものです。</p> <p>国から示された作業の手引きに基づき算出することが基本となりましたが、一部では実態と乖離していたことから、実際の利用希望を見込める量として算出されています。</p> <p>それでは、平成27年度の実績についてご報告させていただきます。</p> <p>まず、資料1の上の方にですね※印として記載、資料1こちらですね、先に資料1の方からご説明いたします。こちら、大きなものは後から。よろしいでしょうか。1ページからご説明いたします。</p> <p>まず、左の上に※印として記載しておりますけれども、報告に入る前に読み上げさせていただきますのでご説明させていただきたいと思います。</p> <p>※充足率は、事業計画の平成27年度Aと平成27年度実績Bとを比較したものとなります。</p> <p>全ての表におきまして、青色が事業計画で平成27年度A、右に黄色が平成27年度実績Bとなっており、AとB、つまり計画と実績を比較したものが充足率（B/A）という形で数字で表しています。100%を超えたものにつきましては、計画以上に達成していたことを意味しておりますし、100%より数字が低いほど計画と実績が乖離していたということとなります。</p> <p>※事業計画の確保の内容人数については、各施設の最大受入可能人数から想定した数字となります。</p> <p>※実績Bは、平均値となります。</p> <p>※「確認を受けない幼稚園」：大谷幼稚園、「認定子ども園」これは藤幼稚園、「特定教育・保育施設」こちらは美幌保育園・東陽保育園・藤幼稚園となっております。それから「認可外保育施設」は、ひまわり保育園・中央保育所、「地域型保育事業」は、へき地保育所、上美幌・福住・田中。</p> <p>※1号認定：教育標準時間、2号認定：保育認定（3歳児以上）、3号認定：保育認定、3歳児未満ということになっておりますので、よろしくをお願いいたします。</p> <p>それでは、資料の1ページをご覧ください。1. 教育・保育施設の需要量及び確保方策を例にご説明いたします。なお、本資料の番号と美幌町子ども・子育て支援事業計画の中の番号は同一となっております。皆さん、お手元に子ども・子育て事業計画が本日ございますでしょうか。この中にある番号と同じ番号という形になっておりますので、後ほどご参照願います。</p> <p>それではですね、左黄色の（1）1号認定・2号認定（3歳以上、幼稚園、認定子ども園）の事業計画です。</p> <p>事業の簡単な内容につきましては、その下の枠の中に記載しておりますが、詳しくは皆様お持ちの美幌町子ども・子育て支援事業計画の中に記載しておりますのでご確認願います。</p> <p>青色、事業計画平成27年度A、必要利用定員総数304名でしたが</p> |

| 発 言 者 | 審議内容（発言内容、審議経過、結論等）   |
|-------|---|
|       | <p>右に行きますと黄色平成27年度実績Bの欄で338人となっております。これを計画と実績で比較したものが右端の充足率111.2%となっております。</p> <p>本日は、全ての項目についての説明はいたしませんので、後ほど資料でご確認いただきたいと思いますけれども、実績が計画より特に乖離しているものについてご説明いたします。ここでは2号認定、事業計画が78名でしたけれども実績は9人となり、右の方にですね、充足率は11.5%というふうになっております。</p> <p>主な要因としましては、認定子ども園に移行したのが藤幼稚園の1園のみであり、幼稚園型ということで1号認定が中心ですので、2号認定、つまり保育の方がですね、こちらの定員は10名であることからこのようになっております。</p> <p>また、一番下に過不足の欄がありますが、利用定員と実績の数に過不足があった場合に人数が入ります。平成27年度は過不足0人となっております。</p> <p>こういった形になっておりますけれども、皆さんよろしいでしょうか。はい、それでは、続きまして2ページをご覧ください。</p> <p>左上(2)2号認定(3歳以上、保育所)ですが、認可外保育施設 事業計画270人、実績92人、充足率34.1%となっております。</p> <p>こちらにつきましては、ひまわり保育園以外の季節・へき地保育所が定員を大きく下回る人数だったためでございます。</p> <p>続いて(3)3ページですね、(3)と3ページの(4)は、ほぼ計画どおりですので説明を省略させていただきます。</p> <p>続きまして、3ページの2地域子ども・子育て支援事業の提供です。</p> <p>(1)利用者支援計画は、計画・実績ともにありません。表の下に※で補足しておりますとおり、子育て支援センターで同様の事業を実施しているため、現状の情報提供・相談体系を継続していきます。</p> <p>(2)地域子育て支援拠点事業ですが、0歳から2歳児となります。計画が1,069人だったところ、実績は4,036人で充足率が高くなりました。低年齢児における子育て支援センターの役割が大きいものと思われま。</p> <p>続きまして4ページをご覧ください。(5)番、養育支援訪問事業ですが、計画が14人実績が22人でした。養育支援が特に必要な家庭への指導・助言が多かったものです。</p> <p>(6)子育て短期支援事業(ショートステイ)それから次の5ページですね、(7)子育て援助活動支援事業は、実施はありませんでした。</p> <p>続いて(8)一時預かり事業こちらは、1つ目が幼稚園における在園児対象型ですが、量の見込みで1号認定と2号認定で大きく乖離していますが、計画策定時は2号認定が増えると見込んでいます。2号認定は1ページの1でご説明しましたとおり、定員が10人でしたので実績は低く、逆に1号認定の定員が多いため1号認定の実績が多くなっております。</p> <p>続きまして6ページをご覧ください。(9)時間外保育(延長保育)事業ですが、こちらは午後6時以降に延長して保育を行っている人数となりますが、実施していますのはひまわり保育園でのみとなっております。こちらにつきましても、計画よりも実績が多くなっております。次に(10)病児・病後児保育事業ですが、計画として25人でしたが、実績はありませんでした。最後に(11)放課後児童健全育成事業(学童クラブ)です。高学年で37人を見込んでいましたが、実績は障がいのある者1名の受入のみを行っています。こちらにつきましては、新制度移行に伴い、国の基準としては小学校6年生までを対象としたところ</p> |

| 発 言 者 | 審議内容（発言内容、審議経過、結論等）  |
|-------|--|
| 早田委員長 | <p>ですが、現在学校の空き教室がなく受入困難であるため拡大できておりません。本計画にありますとおり、平成31年度までに実施できる方策を検討するため、現在学校敷地内での拡大設置について教育委員会と協議中でございます。</p> <p>以上で、まずこちらの私からのご報告を終わらせていただきます。</p> <p>はい、有り難うございます。今事務局から、分かりやすい説明をいただきました。資料1です、何かご質問等ございましたらよろしければページ、また番号等でご質問いただければと思います。</p> <p>何かございますか。どうぞお願いいたします。</p> |
| 大坪委員  | <p>はい、藤幼稚園の大坪と申します。書類番号1番の支援事業計画の実施状況についてで、中段で87.5%が計画どおりに進んでいるとありますが、誰がどのようにこの評価をされたのかを教えてくださいと思います。</p>  |
| 早田委員長 | <p>すみません、もう一度ページ数が・・・。</p>   |
| 大坪委員  | <p>表紙をめくってすぐ書類番号1番・・・。</p>   |
| 事務局   | <p>こちらはまだですね、ご説明していない。この次でご説明する部分になります。申し訳ございません。</p>  |
| 大坪委員  | <p>はい。</p>   |
| 早田委員長 | <p>次にご説明があると思いますので、もうちょっとお待ちください。縦一のA4は、今後すぐ説明いたします。その前にですね、この横一のページ数がふってあるところの説明に関しまして、何かございましたらお願いいたします。</p> <p>なければ、はい、牧野さん、お願いします。</p>   |
| 牧野委員  | <p>牧野です。6ページのまず10番なんですけれども、希望がなかったのか病児病後の。行っているところでは、預けられないんだということをよく聞くので、実際のところこの資料が合っているのかちょっと私は疑問に思います。あと、11番なんですけれども学校の空き教室の関係でというところが、子どもが今少なくなって美幌小学校も2クラスとかなっているの、実際に使用できる教室が無いのかというところがどうなのかな。空いている教室はいっぱいあると思うのですけれども、ただ使用できないという理由なのかももう少しその現場との話が必要ではないかなと思います。</p>     |
| 早田委員長 | <p>はい、有り難うございます。貴重なご意見、これに関しましていかがでしょうか事務局の方から。</p>  |
| 事務局   | <p>まずですね、ご質問ありました10番の病児・病後児保育事業の関係なんですけれども、実は、近隣の市町村でどこか受入してくれるところがないかということで打診して相談したのですが、地元子ども以外は受入しませんとどこも受入しませんという回答がありまして、もし行くとするとですね、美幌町で単独の形で今後行っていかなければならない。他の町では委託についても受入していただけないという形になりました。</p>  |

| 発 言 者 | 審議内容（発言内容、審議経過、結論等）   |
|-------|---|
| 三浦委員  | <p>開設するに当たって、費用対効果の問題ですとか看護師を配置したり色々な人件費もかかる事業でございますので、ニーズ等そこですね、ちょっともう一度検討しながら今後に向けてのちょっと課題という形で進めさせていただきたいなどは考えております。</p> <p>あと、次がですね11番の放課後健全育成事業、学童クラブですね。空き教室につきましては確かに児童の数は減少傾向にあるのですがけれども、現状ですね、例えば、発達支援のお子さん方が別な教室を使って授業を行うですとか、習熟度別にちょっと違った教室で行うということが、実際に今行われているのが現状です。</p> <p>学校につきましても、今日三浦校長先生がお見えですので、空き教室がそういった事情で実際のところは空いていないんです。</p> <p>この問題については、2年位前から2・3年位前ですか、色々要請がありまして、学校で協議したり、また教育委員会と協議しているのですがけれども、実際確かに今言われたように教室のいわゆる学級数は減っても、逆に教室を使うことが多くなっていて。例えば、3学級真ん中で習熟度、2つに別れて勉強する時に真ん中を、例えば高学年で、5年生同士で1組2組の真ん中を、いわゆるAとかBクラスあるとしたらそういうふうにするんですね。あと、一方では、例えば特別支援の子達がどんどん増えてきている中で、正直言ううちの所は1つの教室に3つの障がいの子達がいわゆる複複複式みたいな形になっていたり、本来ではもうちょっと広げてあげたいなというのもあるし、また、いわゆることばの教室で、今教室だけではなくていわゆるなんですか、ボール運動をしたりとか言葉を掛け合いながら廊下でやってる。本当は、ことばの教室もどっか教室が欲しいと。かといって、じゃあどこでもいいかといったら、3階の奥でもという訳にもいかないですよ。そう考えると、基本的に学童はどうしても下の方になってきて、わざわざ上までやっぱり行かないですよ。今年は、何年か前は1つ会議室を1つ提供して、つまり1階の中でさらに1つとかと言うのと、よっぽど全体的な動きの中では非常に厳しいなということで。おそらく教育委員会は違う方法でまた考えているのかなと思って。ただ空いているだけで、逆に少ない人数でなればなるほど逆に教室はこう、小さい単位が必要であると。実はそういう感じなのですね。習熟度というか、そういうふうにするほど、また、特別支援の子をぐっと個別にするほど、障がい学級も増えて来ているものですから、逆に教室は必要だという感じは、今の現状です。</p> <p>以上です。</p> |
| 早田委員長 | はい。   |
| 牧野委員  | いいですか。  |
| 早田委員長 | はい。   |
| 牧野委員  | <p>色々なことは全て分かった上での話なんですけれども、私が言いたいのは、6年生までという対象になっているにも関わらず、まだ3年生までというのが美幌がいつまでやっていくのかなど。他の市町村と比べると訳じゃないですけども、もう少し、たぶん、ここを解決していかないと子育てのそれこそ幼稚園だったり兄弟がいてですよ、そういうところにも影響があるので、この少なくとも国の基準でそうなっている以上は</p>  |

| 発 言 者 | 審議内容（発言内容、審議経過、結論等）   |
|-------|---|
|       | <p>もう少し積極的なところで、別に建物を建てろとは言いませんけれども、やっていかないと解決というかしわ寄せは親であったりお子さんにいつているのではないかなというふうには思いますので、少なくとも毎年同じことを出してくるのではなくて、少しずつ、小学校は3つありますからどこか1つでも小学校でも行うことができれば、不公平ということではなくて一歩前進する。それこそ親によっては、転校してでもその学童がある所に行きたいという子も出てくるかも知れないので、そうしていかないと3つ一緒にとするのはたぶん難しいと思うので、それは事情の中で進めていかれた方がいいのではないかなと。たぶん他の小学校でも同じように言われるのか、それとも出来ると言われるのか。それは直接校長先生なりに聞いてみないと分からないですけども、そこらへんは、少しお考えになっていただけないかなとは思っています。</p> <p>以上です。</p>   |
| 早田委員長 | はい、有り難うございました。  |
| 事務局   | <p>余裕教室につきましては、校長先生、今美幌小学校の校長先生お話しがあったとおり、他の学校の方についてもお話しを聞いております。それで一定の回答としてはですね、学校の中の余裕教室の学年拡大に伴う学童保育所としての利用としては、ちょっと難しいという回答はいただいております。そこで、学年拡大することによって、当然子どもを安心して預かる以上はある一定の大きさが必要ということから、余裕教室が活用できない現状からいくと、どうしても子どもたちを学校から出さないように敷地内で収められることができないかどうかを今検討しております。敷地内である一定の規模の学童保育所が建てられないかどうか整備できないかどうかについて、今協議しているところであります。</p> <p>美幌小学校だけが良くて、他がだめとかそういうことではなくて、基本的には3校、3校同時に考えていきたいなと思っております。</p> <p>それで、大変整備する上ではやはりどうしてもお金がかかることもありますので、その辺の整理については、なかなか来年にすぐ建てるとかそういうふうな形になかなかいきませんけれども、今、計画、支援事業計画が31年度までありますので、その間にはですね、当然目鼻をつけて解決していきたいという気持ちは持っております。</p> |
| 早田委員長 | はい、有り難うございました。  |
| 牧野委員  | 子どもはすぐ成長するので、どの子が行けるのかというのが・・・わかりました。   |
| 早田委員長 | どちらにしましても前向きにですね、早いスピードでお願いしたいと。  |
| 牧野委員  | <p>こういうのは民間とかダメなんですかね。何か、その障がい者だと子どもを預かる所、設けたりしてやったりするんです。そう言うのはどうしても、そばで出来ない場合は民間の方でやったりはする。利用もありますし、まあ津別も出来たり斜里も出来たり色々な所でやってるんですよ。それとは同じとは言いませんけれども、やはり望んでいる方がある以上は真摯に取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>以上です。</p>  |
| 早田委員長 | 有り難うございました。はい、  |

| 発 言 者 | 審議内容（発言内容、審議経過、結論等）   |
|-------|---|
| 三山委員  | <p>ちょっと一点、よろしいですか。青少年育成協議会の三山と申します。</p> <p>一点、この会議がですね、この11月っていう時期というのは適当なのかなっていうのをちょっと感じているのですけれども、今ご報告されたのは27年の事業ですか、その実績とかの報告だったんですけれども、この集計に、例えば今もう11月の末なのでこの会議をするのはもっと早めにしてですね、例えばここで出た意見を28年度の後半、中から後ろへこう生かせるような形で会議を行った方がいいのかなと。もう3分の2経過している時点で、27年、28年の3月までの実績ですよと。今年はこのままになっちゃいますよね。なんで、この協議会としては出来ればもっと早い時期に会議をもって、その年、年度の後半に向けて改善しなければならないことだとか、提案していかなきゃならないことを出していった方がいいのではないかなっていう印象を受けたのですけれども、例えばこの集計に8カ月かかるんだよっていうのであればまあいいんですけれども、今聞いた内容ではもっと早めに集計して実績をパーセント上げて、こんなこと次の年やっ飛ばしていきましょっていうようなことにならないのかなっていうのが印象です。はい。</p>  |
| 事務局   | <p>はい、三山様のおっしゃる通りですね、早い時期に集計ができたのではないかと問われたら、その通りであります。今回ちょっと11月になってしまいましたけれども、来年度以降はもっと早い時期に集計をさせていただいて、皆さんにご報告させていただいて協議をさせていただきたいとそういうふうに思っています。申し訳ないですけれども。</p>   |
| 早田委員長 | <p>貴重な前向きなご意見有り難うございます。今後早めに。</p>   |
| 三山委員  | <p>お願いします。</p>  |
| 早田委員長 | <p>有り難うございました。他、ございませんでしょうか。<br/>はい、それでは、次の説明をお願い申し上げます。</p>  |
| 事務局   | <p>それでは、引き続き私からご報告いたします。先ほどの書類番号1、一枚目開いたところですね、こちらをご覧ください。</p> <p>こちらは、これからご報告いたします全部で112ございます個別事業につきまして、進捗状況を達成度別にA～Eに分類して評価を集計した表となります。評価方法につきましては、右上に記載しておりますとおり達成度が高いものがAとなり、Eにつきましては着手できなかったものとなっております。</p> <p>基本施策として大きく3つあり、地域における子育てへの支援が88事業、すべての子どもの育ちを支える環境の充実が14事業、仕事と子育ての両立の推進が10事業ございます。事業達成度を下にグラフ化しておりますが、全体でA、事業内容を達成した及びB、ほぼ達成できたを合わせますと87.5%となり、3つの事業ともほぼ同様の達成度の高いものとなっておりますが、中にはEの赤、達成できなかったものもございます。</p> <p>それでは、まず子ども・子育て支援事業計画の個別進捗状況についてをご覧ください。皆様、大きな表になっておりますので、こちらの方をご覧ください。</p> <p>こちら1ページから10ページまでありまして、112事業もございますので、皆様すでにお目通しのことと思われ時間の関係上実施できなかったEに絞ってご報告させていただきます。</p> |

| 発 言 者 | 審議内容（発言内容、審議経過、結論等）   |
|-------|---|
|       | <p>では、まず3ページをご覧ください。1-2-4 産婦人科医療対策、表の見方ですね。左上が、まず事業名、左からいきます、左から事業名、次に具体的事業の内容、担当のグループ名、達成量・目標達成予定年度、そして27年度の実績、その横が事業達成度、そして事業の評価、改善事項等があればここに記載されております。で、次、課題、今後に向けての改善事項等がありましたら、こちらの方に記載があります。あと、今後の事業方針として、例えば継続する場合は継続、廃止をする場合は廃止というふうに記載されております。事業内容につきましては、未実施ですとか、廃止、中止などの場合には、理由をさらに横に書くようにしておりますので、こちらの方が一番右の方になっております。</p> <p>見方につきましては、よろしいでしょうか。</p> <p>では、3ページの左の一番上のところ、1-2-4 産婦人科医療対策、ここで産婦人科医師対策(助産師相談の充実)とあります。こちら達成度E着手できなかった。こちらはですね、課題と今後に向けての改善事項等につきまして、全国的な課題であり困難なことではありますが、引き続き産婦人科医師の確保に努めたいというふうな回答がありました。</p> <p>続きまして、下の方(4) 児童の健全育成、1-4-1 青少年健全育成活動の推進。この中でわんぱく教室下から2つ目ですね。こちらE着手できなかった。こちらは廃止するという方向です。平成27年度以降、主管サークルの解散に伴い事業を廃止したということでこちらは廃止というふうになっています。</p> <p>続きまして、4ページをご覧ください。一番下、ジュニアクロスカントリースキー教室。こちらにつきましても、着手できなかったと。この理由としましては、一番右下にありますけれども、年度ごとに実施事業を選考しているためということで、今回はこの事業を選考しなかったことによるものです。</p> <p>続きまして、5ページをご覧ください。上から4つ目ペタンク教室。こちらも着手できなかった。こちらはですね、参加人数が少なくて中止したというふうになっております。今後に向けては、学校や報道関係を通じて教室の開催を周知するとともに、ペタンクに興味・関心を持ってもらえるよう本町にいる世界レベルで活躍する選手から指導を受けられる機会とすることで参加者の増加を図るというふうになっております。</p> <p>続きまして真ん中、親子で親しむスポーツ等の実施。こちらも着手できなかった。こちらは廃止という形になっておりまして、平成28年度は実施しないため廃止するという形になっております。</p> <p>続きまして下から3つ目、わんぱくスポーツ教室。こちらも着手できなかった。こちら廃止します。こちらはですね、アクティブ・キッズ・ビートスポーツ教室へ統合したため廃止をするということになっております。</p> <p>一番下、チャレンジキッズスポーツ教室。こちらにつきましても着手できなかった。こちら廃止と。今後、文科省の採択を受ける機会がないため廃止するという回答をいただいております。</p> <p>続きまして、7ページをご覧ください。はい、上から3つ目ですね。ごめんなさい、7ページになります。夏休み子ども自然教室。着手できなかった。こちらは中止することです。定期的には実施せず、必要に応じて実施するというので、中止という形になっております。</p> <p>それから、真ん中やや下、子ども工作教室。こちらも着手できなかった。こちらはですね、実施時期が他の事業も集中していることもあり、実施しなかったというふうにあります。今後に向けてなのですけれども、他にモノ作り講座、プチ工房など工作体験講座があるため、子ども工作</p> |

| 発 言 者 | 審議内容（発言内容、審議経過、結論等）  |
|-------|--|
| 早田委員長 | <p>教室はそれらに統合させて効率化を図りたいということで中止するということでございます。</p> <p>続きまして、最終ページ10ページをご覧ください。こちら左上のですね、1、2、学童保育一時預かり事業、こちらにつきましては、着手できなかったと。こちらはですね、受入体制の整備が困難なため実施することが出来ておりません。ただ、緊急ではないんですけれども、急ぐ事情のある場合は優先して早急に保育を行っております。今後も、継続してですね、事業の方を検討してまいりたいというふうになっております。</p> <p>先ほどご質問のありました、表のですね、誰がこれを採点したのかというご質問で、回答ですけれども、こちら各担当それぞれここに記載されております。その担当の者に、この事業についての依頼をかけたまま、実績等それから達成度につきまして、担当の方から回答をいただいております。そのような形になっております。</p> <p>以上で、こちらの説明を終わらせていただきます。</p> <p>今の説明に関しまして、何かご意見ございますか。<br/>よろしいですか。<br/>はい、それでは今の説明に対しまして、また、ご質問、ご意見ございましたら、お声を発していただきたいと思いますが。</p>   |
| 大坪委員  | <p>よろしいですか。</p>  |
| 早田委員長 | <p>はい。</p>   |
| 大坪委員  | <p>すみません、先ほどの資料、会議次第の5ページの（8）の所なんですけれども、一時預かり事業で幼稚園における在園児対象型の預かり事業のことが載ってるんですけども、ここの27年度の実績人数が下の欄外にありますように、大谷さんと藤幼稚園の預かり人数を足した人数になっていると思うんですけども、今、うちの幼稚園は認定子ども園の新制度に移行して預かり保育も2号児もやっているんですけども、自治体からの一時預かり事業として委託されてない状況なので、ここには載らないんじゃないかと思うんですよね。で、大谷さんも新制度の預かり保育ではないので、ここの27年度の実績に数字が載って充足率が720%になるっていうのはおかしくて、事業としてまだやってないので0%だと思います。</p> <p>で、今はうちの幼稚園も新しい制度になって預かり保育やってますけれども、私立幼稚園の管理運営費っていうのでやっています。たぶん、国の方からは、新制度に移行した園に対して自治体から働きかけて、事業をね、一時預かり事業を委託して受託するようになってると思うんですけども、年度途中で今年もできるはずなんですけれども、私たちは委託してくださいとお願いしているんですけども、委託しないっていうことをお話しされて、29年度もしないということを言われたんですよね。なので、町の一時預かり事業としてここにあることが違うんじゃないかっていうことと、どうして委託事業にしていだけないのかを教えてください。</p> |
| 早田委員長 | <p>よろしくお願いたします。</p>  |
| 事務局   | <p>まず、こちらですね、一時預かり事業につきましては、計画を立て</p>  |

| 発 言 者 | 審議内容（発言内容、審議経過、結論等）   |
|-------|---|
| 大坪委員  | <p>た時に幼稚園における在園児対象型という形と、2号認定の定期利用ということで量の方を見込んでおります。確かに、おっしゃるとおり現状での制度上ではこの制度にはのっかっておりませんが、一時預かりとして行っている人数につきましては実際に今行っている状況にありますので、その人数については0人という形ではなくて、実績としてはあるということで掲載をさせていただいているということでございます。</p> <p>でも、こういうふうに見ると、事業として成り立っているふうに見えませんか。一時預かり事業としては、行ってないですね。まだ私学助成の方になっているので。もっと言うと、うちの学園は8つの幼稚園が管内にあって、その他の7つは自治体からの委託にもなっています。美幌だけが委託になっていない。この新制度の中で、子ども子育てを手厚くしていくために、うちの幼稚園だけ新制度になりましたけれども、去年から7時半から6時半まで園を開けて、月曜から土曜まで働く方のお母さんを見れる状況にして、最初の計画の方にもありましたけれども、仕事と子育ての両立をする保護者さんを支援するための状況をやって進めているのですけれども、そこを美幌町の自治体の方に指導していただきながら、助言いただきながら、やっていくんじゃないかなと思うんですけれども、委託は出来ないっていうふうになってしまうと、少子化対策で色々事業をやっていることと矛盾がないのかなっていうことと、たぶん国はそういうふうに進めていきたいと思いますっていうことで、うちは手を挙げてやっているんですけれども、従来のやり方っていうのはおかしいし、町からの委託にならないと保護者さん負担を増やすしかないっていう今困った状態にあります。なので、そのこの所を、まあ表のことからいきましたけれど、町として子ども子育てのこの色々な分野ありますよね。先ほどもありましたけれども、色々進んでいく中で、どんなスタンスにいるのかっていうのを話し合うのがこの会議だと思うので、町の考えを教えてください。</p> |
| 早田委員長 | <p>ちょっと1つ質問ですけど、委託をするということは金銭関係が発生するっていうことなんですよ。</p>  |
| 大坪委員  | <p>もちろんです。</p>  |
| 早田委員長 | <p>はい、わかりました。お願いいたします。</p>  |
| 事務局   | <p>まず、計画書に載せるその人数につきましては、新しい制度に乗る、乗らないというのは、計画の時点でははっきりしない分もありました。</p> <p>今後、大谷さんの方が新しい制度に乗れば同じような考え方になるのかも知れませんが、こちらでは新しい制度に乗ったところ、また、乗ってないところで、一時預かり事業として実際に幼稚園、下の方は保育園ですけれども、それに置き換えた場合の計画の数字を出したために今回当てはめて出したということがまず一点。次に、町の委託事業にする、しないって判断につきましては、決して料金的なこととはちょっと別にしても、今まで道の方でやっていた私学助成の経過措置として今やっていることもございます。その経過措置がいつなくなるのかということも、実際にはまだうちの方では直接聞いておりませんが、経過措置の問題も含めてうちの方では今検討をしているところではありますが、ちょっと来年度については業務量の問題もあり、今までは私学助成ですか</p>   |

| 発 言 者 | 審議内容（発言内容、審議経過、結論等）   |
|-------|---|
|       | <p>ら町の経費の方も特になかったんですけれども、委託することによって町の方の財政負担も伴ってくるという問題もあって、ちょっと時間をもらいたいというお話しであります。</p> <p>それで、29年度はちょっとできない状況で、1年かけて業務量のこと、それから経費的なことも含めて検討していきたいというふうに考えている所であります。</p>  |
| 早田委員長 | はい。   |
| 大坪委員  | もし、何か思っている方に、意見欲しいです。   |
| 牧野委員  | <p>いいですか、基本的に、これは計画を立てた時にはまだ移行の前となつた。それは分かるのですけれども、実績が出た時には、あくまでも現状、今のルールでやっていくべきであるので、今言われたとおり0ではないかと。これはいた仕方ないことであり、計画の時はまあいいのです、こういうことが分かっていたんです。いざ実施年度になった時に、実はお金が発生するとか色々な事情が出てきて、まさにさっきの学童も一緒です。お金がなくて出来ないのですからということは、今もお金がないから出来ませんでしたでもいいんじゃないですか。決して、幼稚園側は頑張って一時預かりやっていますし、親も一生懸命負担しているけれども、そこには何の、町としてのものが出ていないというのは明かですから、申し訳ないんですけれども、これはやはり今言われたとおりしていかないと。これを見られた方は、町が補助しているかしてるとんじやないかっていう、うがった見方をした場合には、もしかすると園側の方にそういうふうに話替えて、どうしてこの経費はなっているんだって言われる親も出てこないとは限らないので、もし文書で出て行くものであるならば、やはりそれは正式な数字でいくべきではないかなと私は思います。そうしていかないと、迷惑がかかるところが出てくる可能性がある。決して私たちは、この数字が良い悪いっていうことを言ってる訳でもないですし、出来たらいいっていう所でなんだかんだっていうことではない話し合いだと思います。こうして、せっかく意見出されたものは受け止めて、そして、しっかりと反映してくべきではないかなとそう考える所であります。</p> |
| 事務局   | <p>一時預かり事業として行っている内容は、基本的には同じ状況じゃないかな、というのは理解していただけたと思うのですけれども、それに、実際に町が委託する、しない、それによってこの数字がどうだこうだではなくて、実際利用されている方はこの人数ですよ、っていうことにして、先ほど言った内容については、後は町と事業者とのやりとりという考え方なのです。ですから、あくまでも、どこかに注意書きすれば良かったんでしょうけれども、注意書きをしないで町が委託している、していないも含めてこの人数という形でお知らせした方が良かったのかなって今思っているのですけれども。一時預かり事業を、私学助成やった場合だからこれに入らないのだよとか、やってるから入るんだよとかそういうことではなくて、一時預かり事業を利用されている人数として把握しているというふうに考えていただけないですか。</p>  |
| 中武委員  | はい。   |
| 早田委員長 | お願いします。   |

| 発 言 者 | 審議内容（発言内容、審議経過、結論等）  |
|-------|--|
| 中武委員  | <p>うちも小さい子がいて、来年度幼稚園に入園する子がいるのですけれども、美幌って幼稚園が2つしかないですよ。その中で、一つは子ども園一つは子ども園ではないっていう所で、まず母親は悩むんですよ。働いてるお母さんから、これから働こうとするお母さんからしたら、やっぱり子ども園の方がいいのかなって思う所はあるし、その上で例えば自己負担が出来ればやっぱりない方が嬉しいですよ、働く意味がなくなる訳じゃないのですけども、働いて払う分を大きくなったら、また何のために働いているんだらうって思う人も、まあ幼稚園しかりだと思っただけなんですけれどもあると思うんですよ。その上で、その気持ちで働くお母さんみんな思ってることだと思うのです。お父さんもそうだと思うのですけれども。その中で28年度、29年度もないですってこうバサッと言われると、希望も持てないというか、なんか働く気にもなれないっていうか、どうもなっちゃうので、何かそこは、こう、ないですって言うのではなくて、ちょっとそうするために何かこう考えてみますとかっていうお言葉がいただくと、こちら、ああじゃあ、みたいな感じになるんですけど、ないですって言い切られるとすごく悲しいというか、着手できなかったところを今までそういうふうにはバサリ切られてきたのかなっていう印象を受けるので、もっと何か歩み寄って欲しいって言う気持ちが聞いてて思いました。</p> |
| 事務局   | <p>一時預かり事業が、出来ないっていうことですか。幼稚園の中で。</p>  |
| 中武委員  | <p>いや、出来ないんじゃないかと、今のお話し聞いてるとじゃあなんで委託されないんですかって言うやりとりされてましたよね。その中でじゃあ29年度もないですって言われたんで、そうですか29年度もないですって言われてたので、それだとちょっと、そこに今28年来年度は無理だとしても、でもなるべくそういう事業に力を入れてるっていう所を見せて欲しいというか、なんか今いつもここで集まって、その誰が調査してるんだとか、たまに前回集まったのが何月だったでしょうっていう感じで、一体何をされているのかも正直分かってない。手元にこれが来るだけで。なので、普段生活している町民としては、もっと大々的になんかこう、例えば役場にきた瞬間に、子育てに力入れてますみたいな、なんかこう、ポスターじゃないですけどそういうのとかあると安心できるんですよ。何かこうもっと他の事業してるんですよっていうアピールもしていただけたら、町民にも安心できるんじゃないかなと思うんですけどいかがでしょうか。</p>   |
| 事務局   | <p>一時預かり事業のことではなくて、今は他の事業のことも含めてということですか。町でやっている子育て事業のことということか。</p>  |
| 中武委員  | <p>子育て事業。</p>  |
| 事務局   | <p>アピールの仕方、または公表の仕方がちょっと不十分だったり、ちょっと少ないんじゃないかといった部分もあるかも知れません。ちょっと、ホームページの方もですね、なかなかアピールというかアップしない部分も多いかも知れません。今後、どういう形で皆さんにお知らせできるか検討して、少しでも多く皆さんに分かっていただけるよう内容を考えていきたいなと思います。</p>  |
| 牧野委員  | <p>まあ、いずれにしても、この充足率に関わる数字なんでどう考えても</p>   |

| 発 言 者 | 審議内容（発言内容、審議経過、結論等）   |
|-------|---|
|       | <p>このままいったらおかしいですし、一時預かり事業を積極的に進めていくためには、ここに数字があったら、大丈夫だと思っちゃう人がいっぱいいるんですから、議員さんだっって知らないことですよ、こんなことは。もし、そんなことが、そこにこういう話になってるってことが分かってしまうと、当然全ての事業に対してもう一度見直しがかけてもおかしくないような今の話だと思いますので、基本的には出したい数字があるんでしたら0にしてカッコして、実績ではなくて現状、いわゆるその年度はこれだけの方が預かり事業というか預かり事業と同じような形で幼稚園なり保育園に通いましたよっていうふうにしなないと、少なくとも充足率は0にしていかない限りは、これはちょっと誰も納得しないんです。今色々な話出てきましたけれども、これは一時預かり事業と同じようなことをしているから、ここに数字はこれでいいんですみたいな。ちょっと違うかも知れませんが、そういう話ではないと思うんで。</p> |
| 事務局   | <p>認定子ども園において、一時預かり事業、在園児に限る一時預かり事業を希望者がいらっしゃって。それをちゃんと認定子ども園の方で受け入れているよというその数字を掲載していると。</p>  |
| 牧野委員  | <p>それは、決して、その・・・。</p>   |
| 事務局   | <p>これは、そういう意味なんですけれども。決して、例えば100人いらっしゃって、100人皆さん受け入れているんだったらいいんですけど、例えば120人希望者がいて100人しか受けなかったと。20人は一時預かりできなかったよっていうことになれば、ちょっとどうなのかなって思うのは思うんですけども。</p>   |
| 牧野委員  | <p>それは、これとは話が違うんじゃないかと。</p>   |
| 事務局   | <p>こちらに掲載しているのは、一応初めはニーズ調査をして、希望者はどれだけいるか、そして、今回認定子ども園の方ではどれだけの方が実際に本当に入ったのかということ聞いてですね、記載したもので、牧野さんのおっしゃることもありますので、掲載方法については今後ちょっと検討していきたいと思います。</p>   |
| 牧野委員  | <p>そうしないと、幼稚園が幼稚園としてやることに、明確な何というのですか信念というか、それ持てなくなりませんか。だまされたような感じで。たぶんその説明、あれって思うんじゃないですか。</p>  |
| 國澤委員  | <p>これに関しては、個々の事業っていうふうに考えたら、幼稚園単位の事業であって、町の事業であって町の事業じゃないですよ。そういう意味の数字ですよ。</p>  |
| 事務局   | <p>そうですね。</p>   |
| 國澤委員  | <p>町の事業として書くのであれば、やっぱり0ですよ。</p>   |
| 牧野委員  | <p>いわゆる、どう拒んでもダメなんです。色々なこう考えても数字は出せるにしても、0の横にカッコで1万なんぼで0%にしておかないと。じゃあ、なんでこれは0になるんだっていう所から疑問が始まって、ああ、じゃあこれはこういうことをやっていかなきゃならないなという</p>   |

| 発 言 者 | 審議内容（発言内容、審議経過、結論等）  |
|-------|--|
| 事務局   | <p>一つの資料になるはずのものなんで、決して良かったね、ああ、そうなんだっていうことよりは、やはりこれを見て色々な方が色々な意見を色々な場所で言えるような資料になっていった方が、たぶん先ほど、僕は初めてなったんですけども、少なくとも貴重な時間使って集まるのですから、出来れば一人1回意見言いながらその意見が色々な所に記載されて、そして間違いなく、まあ実施はされないまでも、色々な話の基礎になっていけばいいのではないかなと。そうは思います。なので、絶対譲れないとかではなくて、やはり、こうじゃないかという意見を吸い上げる場所だと思われるので、少なくともこれだけまとまっている意見であるので、少し考えた方がいいんじゃないかなと思います。</p> <p>次回からで申し訳ないのですけれども、ちょっと記載の方法ですね、今のようにちょっと検討させていただくということによろしいですか。</p>   |
| 早田委員長 | はい、すみません、お願いします。   |
| 牧野委員  | これ、このままどっか出るのですか、要するに。もう出てるんですか。   |
| 事務局   | いや、どこも出ていません。まだ。   |
| 牧野委員  | 道外に出るんですか。   |
| 江口委員  | <p>町で主催しているものとして出すのであれば、今意見が出たようにあまり適切ではないと思います。なので、これをどちらかへ公表するというのであれば、今回のこの資料から今言われたような形の修正というかは必要じゃないかなとは思いますが。</p>  |
| 井上副会長 | <p>そもそも、藤さんが、認定子ども園として手を挙げるにあたって、大谷さんと藤さんに認定子ども園としてどうですかって言って、考えていただけませんかかって、手を挙げる挙げないで非常に悩まれて、それで藤さんが先に手を挙げて、大谷さんは1年間様子を見るっていうことで、当時はそういう形だったかなと思うんですよね。なんで藤さんが先に手を挙げたかって言ったら、たぶんニーズがあったのと、他の地域北見だとか他に藤さんたくさんある幼稚園があるので、そちらの方でそういうふうには手を挙げてやっているの、一時預かりをふまえて町からもそういう一時預かりをして欲しいっていう父兄の要望があるから、認定子ども園として先生を増やしたり、そういうね、認定子ども園に手を挙げるっていうことは、先生の数を増やしたり色々なことを時間外今まで受けてなかった時間外になるので、そういう人材の確保があるから、その覚悟の上で手を挙げてくださったと思うのですよね。だから、そこが重要であってというのは、町から委託をされるであろうという前提の元、また、委託していただきたいっていうのとそれは、親の負担が軽減されて、町が子育てに充実した町であるっていうことで、認定子ども園を推進して手を挙げていただけないかっていうことだったんじゃないかなって思うんですよね。だから、ここでそういう意見が出るっていうことは、やはり認定子ども園として手を挙げて一時預かりをしてもらっている園があるのであれば、町として一時預かりの部分については、経費面については助成の部分だとかっていうのを考えなきゃいけない所だと思うので、そこについては、やっぱりそういう意見等早く着手していかなくちゃいけない大事な部分だっていうことをあげていただかないと、認定子ど</p> |

| 発 言 者 | 審議内容（発言内容、審議経過、結論等）  |
|-------|--|
| 早田会長  | <p>も園に手を挙げたはいいけれども、働くお母さんたちが結局困って経費がかかるから一時預かりを断念して、仕事をやめるっていうことにもつながってくる可能性もなきにしもあらずだと思うんですね。</p> <p>だから、そこら辺のところは今日の問題で今数字のことでも問題が出たんですが、一番そこが重要なことで、やはり1年でも早く半年でも早くそのところを進んでいってもらえなかったら、せっかく認定、また、大谷さんも今後認定子ども園として手を挙げていこうって。たぶん、色々な状況の中でやってくと思うんですね。だから、子育てに厚い町としていくのであれば、そこらへんの所もやはり考えていかないといけない所なんじゃないかなと感じました。</p> <p>まあ、今こういうふうに皆さんからご意見が出たっていうことは、役場に対してどうのこうのじゃなくて、父母、その先々のね、子どもたち、また、親子さんのためのいい意見ということで汲み上げていただければと思います。</p> <p>こういう協議会ですから、フォーマルな会なのでこの意見はくみ取っていただければと思います。</p> <p>他、関連でもよろしいですし、違うご質問でもよろしいですしございますでしょうか。</p> |
| 江口委員  | <p>これだけ実績の数字が上がっているっていうことは、これだけ人数があるのとらえるべきだと思うのですね。なので、来年度、今の所は考えてないということではなく、もう頭に入れて予算付けに入れて考えなきゃならない事業の一つだと思うのですね。この辺をちょっと予算ということではなく、その予算も結局町の財政、町の財政っていうふうには払っているのは私たち町民、奥さんも仕事をしっかりしてもらって、税を納めてそこからまたこういうものに費用を投じていくっていうことにつながるんで、そこら辺はちょっと早々に検討していただかなくてはいけないんじゃないかなと思います。</p>  |
| 早田会長  | <p>はい、ご意見ありがとうございます。</p> <p>これの他に、まだ事務局から説明する事項ってございますか。特にいいですか。</p>   |
| 事務局   | <p>1 ページ目の上からですね、3 番目の子育てガイドブック発行というのが書いてあります。28 年度において、一部内容を変えまして改訂しまして発行しました。それで、先ほど机の上にピンクの表紙の物が出来上がりましたので、皆さんに配布したいと思います。</p>  |
| 早田会長  | <p>これは、目を通すというか・・・。</p>  |
| 事務局   | <p>いや、持ち帰って結構です。出来上がりましたので、皆さんにお渡ししたいと思います。</p>  |
| 早田会長  | <p>第3次というか、改正、改訂のですね。</p> <p>28 年度、内容を改訂し発行ということで、出来たものが皆さんの目に手にお届けしたということでございますので、よろしく願います。</p> <p>はい、本当に今日、皆さんから色々貴重なご意見ですね、いただきましたので、それを是非1 つでも2 つでも3 つでも全てでも、前向き</p>   |

| 発 言 者  | 審議内容（発言内容、審議経過、結論等）   |
|--------|---|
| 高崎民生部長 | <p>に考えていただければなと思っております。<br/> 何か、ご意見ございましたらどうぞ。<br/> 時間も貴重ですので、なければ第1回の会議締めたいと思いますし、この場で言えなかったことがございましたら申し訳ございませんが直接ですね、事務局に言われてもよろしいかと思います。<br/> はい、お願いいたします。</p> <p>本日大変貴重なご意見、たくさんいただきまして、うちのほうもですね、何もしていないのではなく、ちょっと周知不足もあるかと思いますが、今回加わりました子育てガイドブック等にも色々載ってますし、平成27年から広域利用の保育だとか、色々な子育て支援出来るところから進めておりますので、ご理解いただきたいというふうに思いますし、また、本日いただきました色々な学童保育だとか、会議の開催時期色々なご意見ありますので、この辺については、もう出来るものから改善させていただきまして、先ほどの一時保育についても表現方法を含めましてですねちょっと色々検討をさせていただきますし、今後につきましては、すぐ出来るもの、出来ないもの、予算を伴うものもありますし事務的なちょっと検討しなければいけない部分もありますけれども、全くしないっていうことではなくて色々着実にですね、計画に載っているものが進んでいける、安心して子育てできるような町にするために努力させていただきたいと思っておりますので、そういう部分ではご理解いただきたいと思っておりますし、また、色々ご意見ありましたらこの会だけでなく直接ご連絡いただいても結構ですので、今後とも子育て支援のために、ご協力、ご支援をお願いしたいというふうに思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします。</p> |
| 早田会長   | <p>はい、有り難うございました。<br/> それでは、長時間に渡りまして、皆さんどうもありがとうございました。<br/> それでは、第1回の協議会を閉会させていただきます。<br/> どうもお疲れ様でございました。</p>  |
| 事務局    | <p>ありがとうございました。</p>   |

美幌町次世代育成支援推進協議会出席者名簿

| (敬称略) |                        |          |     |
|-------|------------------------|----------|-----|
|       | 団 体 名                  | 氏 名      | 出 欠 |
| 1     | 美幌町民生委員児童委員協議会(主任児童委員) | 早田 眞二    | ○   |
| 2     | 美幌町民生委員児童委員協議会(主任児童委員) | 井上 裕子    | ○   |
| 3     | 美幌町民生委員児童委員協議会(主任児童委員) | 中川 睦子    | ○   |
| 4     | 美幌町自治会連合会女性部会          | 畑 郁子     | ○   |
| 5     | 社会福祉法人 美幌町社会福祉協議会      | 小國 柑奈    | ○   |
| 6     | 美幌町青少年育成協議会            | 三山 秀市    | ○   |
| 7     | 美幌町PTA連合会              | 中條 雅司    | ○   |
| 8     | 美幌町小中学校長会              | 三浦 正     | ○   |
| 9     | 美幌大谷幼稚園                | 國澤 智子    | ○   |
| 10    | 美幌藤幼稚園                 | 大坪 弘美    | ○   |
| 11    | へき地三地区合同父母の会           | 水本 真由美   | ○   |
| 12    | 東陽保育園父母の会              | 江口 高志    | ○   |
| 13    | 美幌町手をつなぐ連絡協議会          | 牧野 泰乗    | ○   |
| 14    | 美幌町ハート支援ネットワークの会       | 成田 光幸    | ○   |
| 15    | 特定非営利法人 ひまわり保育園        | 贅田 知子    | 欠   |
| 16    | 美幌商工会議所                | 横山 清美    | 欠   |
| 17    | 一般公募                   | 中武 梢     | ○   |
| 18    | 一般公募                   | 中嶋 泉     | ○   |
|       | 町側                     | 高崎民生部長   | ○   |
|       | 町側                     | 武田児童支援主幹 | ○   |
|       | 町側                     | 楠原保育指導主査 | ○   |
|       | 町側                     | 一色業務担当主査 | ○   |